

令和6年度 個人研修

酒田市立富士見小学校

～共に学び合い共に高め合う教員集団を目指して～

目指す教師像

- ・ 児童理解に努め、一人一人の個性を認め伸ばす教師
- ・ 全員参加のわかる、できる、楽しい授業を目指す教師
- ・ 子ども、保護者、地域に信頼される人間性豊かな教師

1 研修の柱設定の理由

(1) 児童の実態から

昨年度は、学級活動(1)の授業実践を重点とした。話し合い活動を取り入れ、児童一人ひとりが自分の考えを持ち、他者の多様な意見に触れて考えを広げることを目指した。学級会を各学級で継続して行うことができたことで児童が自ら議題を考え、話し合いにおいて賛成意見や心配意見を積極的に話すことができた。友達の意見を積極的に取り入れ、考えをつなぐことや考えを深めることができる児童が増え、話し合いの力、合意形成の仕方、気持ちの折り合いの付け方、自己決定力、実践力などが向上した。また、活動を通して学級への所属感、自尊感情が高い児童が増えた。

富士見小学校の課題としては、相手意識の不足による児童間でのトラブル、生徒指導の諸問題、不登校、特別支援教育の必要な児童の増加などが挙げられる。

こうしたことを踏まえ、児童の多様化が進んでいる昨今、研修テーマを教員自身が設定し、児童や学級の実態に応じた研修を進めていくことが必要であると考えられる。

(2) 本校の教育目標から

本校は、「みずから(自立)なかよく(共生)たくましく(たくましさ)」を教育目標として、「自分で考えて、行動する子どもの育成」を目指している。

自分で考えて行動する子どもの育成のため、教師自ら主体的に考え学ぶ必要があると考える。

こうしたことから、日々の授業での実践を充実させ、教員同士で情報交換を行いより良い授業作りとより良い学級づくりを目指していきたいと考えた。

2 校内研修に係る基本方針

- ① 学校教育目標の実現に向けた目指す教師像に資する研修を行う。
- ② 山形県教員「指標」におけるキャリアステージとの関連を図りながら、教員一人一人のニーズに応じてテーマを設定し、「担任力(学習指導力・生徒指導力・特別支援教育力)」の向上を図る。

3 研修内容

山形県教員指標 <山形県教員研修体系>

○基本研修…初任者研修、2年次・3年次フォローアップ研修、5年経験者研修

中堅教諭等資質向上研修、ステージアップ研修、教職中期経験者研修

○専門研修…教科・領域に関する研修、教育課程課題に関する研修、マネジメントに関する研修

授業研究、職員研修、授業研究、職員研修など

4 研究のテーマの例

～研修テーマの例～

- ・特別活動・FLATとの連携・安全教育・防災教育・児童会・学級経営（支持的風土のある学級づくり）・不登校・生徒指導・カリキュラムマネジメント・特別支援・UD・ICT・教科学習
- ・ルールとリレーションの確立・SST・エンカウンター・社会モデル など

学習

- ・授業改善(授業のUD化推進、学び合いの授業推進)
- ・地域に開かれた学習活動の推進
- ・魅力ある学校図書館(学習センターとしての役割強化、「ぴっころ」やPTAとの連携など

生活

- ・安全・安心な居場所作りの推進(学級経営・学年経営の充実)
- ・自発的・自治的活動の推進
- ・公益・貢献の心を育む体験活動、ボランティア活動の推進
- ・多様性を尊重する態度の形成 など

健康安全

- ・体力づくりの充実(年間を通した運動する機会の確保と体力の向上)
- ・生活リズムの確立(メディアコントロール)
- ・安全教育・防災教育の充実・(児童の危険予測回避能力の向上) など

5 研修組織

(1) 基本研修



※各ブロックで分担して事前・事後研の記録や、研究授業の写真撮影等を行う。

○全体会

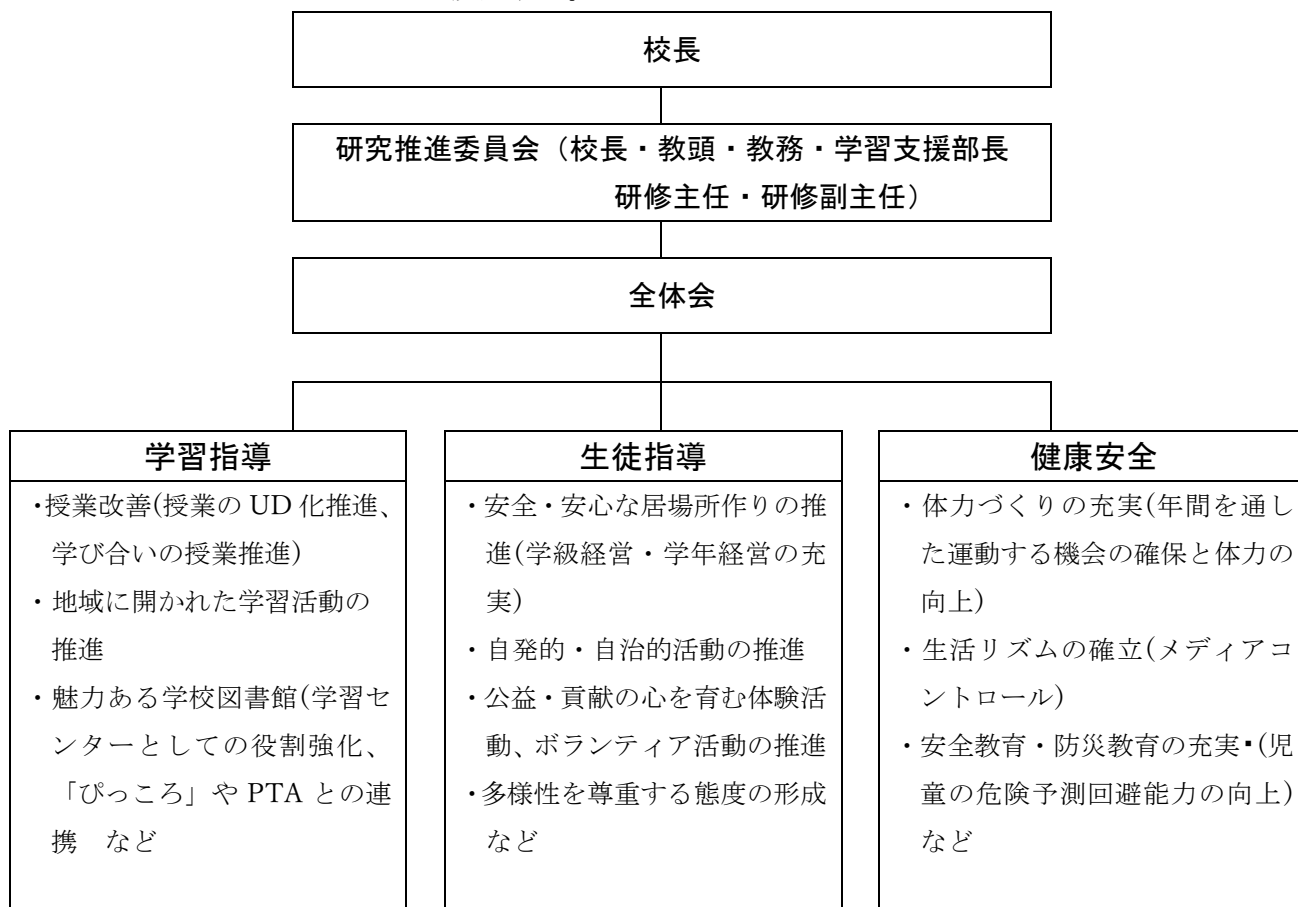
- ・研修の具体的な進め方や授業について協議し、共通理解を図る。

○研修推進委員会（校長・教頭・教務主任・学習支援部長・研修主任・研修副主任）

- ・個人研修推進のための企画・立案を行う。
- ・授業実践に活かすための基礎資料を作成する。
- ・実践内容や資料を整理・保管する。

(2) グループ研修

- ・テーマごとにペアやグループを設定する。



6 研修日程

日程	内容	参加者	時間
5月1日（水）	学校研究全体会①	全員	15：30～
	アンケートの実施	全員	
5月29日（水）	研修ミーティング「ほっとたいむ」①		15：30～16：00
6月10日（月）	研修ミーティング「ほっとたいむ」②	希望者	15：30～16：00
6月24日（月）	事前研①	担当ブロック	15：30～16：00
7月19日（金）	学校経営計画指導訪問（教育事務所） 全校4時間授業 1－2、5－2 授業研究会、事後研究会	全員 （事前研は各ブロックで。事後研は全員参加）	詳細後程
7月31日（水）	学校研究全体会② 中間報告会	全員	詳細後程
日程調整中	事前研②	担当ブロック	
11月11日（月）	市教委訪問 石垣由香里先生 授業研究会、事後研究会	全員	詳細後程
1月20日（月）	全体会で実践と成果と課題を共有 （プレゼン形式）	全員	詳細後程

（1）授業研究会

- ・提案授業の前には事前研究会を設定し、課題の明確化を図る。グループをつくり、提案授業を検討する。
- ・提案授業の後には事後研究会を設定し、成果と課題の共有化を図る。
- ・授業研究会における役割分担を各ブロックで事前に行う。

7 指導案について

第○学年○組 ○○○指導案

令和○年○月○日 (○) ○校時

指導者 ○○ ○○

1 単元名

2 ねらい

(1) ○○○

(知識・技能)

(2) ○○○

(思考・判断・表現)

(3) ○○○

(主体的に取り組む態度)

3 指導にあたって

児童について (男子○○名 女子○○名 計○○名)

○○○○○○

4 評価規準

観	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準			

5 本時の展開

8 研究のまとめ

- ・公開した授業の指導案
- ・事後研究会での協議
- ・成果と課題を報告書に個人またはグループでまとめる。

※まとめる視点として、

- ①個人研修としての成果と課題
- ②教育課程の改善や分掌業務の改善等とのつながりをもたせる。